# 琉球新報社長賞

「Earth新聞」新川 笑未 さつき小6年

earth新聞

H23 8月8日（月）

# みんなの力をつなぐ

## 地産地消 cooking

## 命をつなぐ

私たちの生活に、エネルギーがなくてはならないものです。冷蔵庫や電話機など、みんながねている間にも電力を消費している家電製品もあります。使用するエネルギーが増えると二酸化炭素が増え、地球温暖化につながります。家庭で使うエネルギーを節約し、二酸化炭素を減らすため、地球にやさしい生活をしていきましょう。

私は、ガールスカウト活動を通してもっと緑豊かにできる活動や豊かな自然を守るために、街の緑を増やすために、植樹や花を育てたりしました。また、森林の役わりを考え、森林の守るための活動、「食」について考え、農作物を作る活動もしています。緑は、地球温暖化の原因の二酸化炭素をすいこんだりためておいたりして、私たちに必要な酸素をふやし、生み出してくれます。

地産地消をテーマに自然と触れ合い、田植え、刈り取り、脱穀、収穫の喜びを感じながら、収穫したお米をバザーで売ったり自分たちでだいて食べたりしました。

世界では、食べ物がなく、飢えに苦しみ、そのため病気になり、毎日2万5千人の人々が命を落としている。その中の1万4千人は、5才以下の子どもである。世界のどこかで、貧困や飢えを引き起こしている現場がたくさんあります。地産地消を意識することが大切。

## 発行者 新川笑未 六年三組

## 農薬にうごく

食品の放射性物質について、食の汚染は重要なことです。魚は色んな物を食べているので食物連鎖があり放射物質を確認するのが難しいと聞いています。食用の肉や植物については土壌検査で予測されるとゆうがこれからどうなるかだれにもわからないことは事実である。風評被害に逃わされないように、何が安全、安心な食材なのか、私たち消費者が判断しないといけない。

もともと、放射性物質は医療に役立てることを目的として、「ロバート・オッペンハイマー」によって研究されてきました。

その研究の結果、一瞬にしてたくさんの人の命をうばうことができるとわかりました。過去の戦争でわかっていたことなのに、再度起こってしまった。

しかしながら、原子力は恐ろしいものであっても私たちの生活に必要なものとして定着のように考えていた。

原子力のない社会を意識することが大切。

## 編集後記

私は、この学習をして、3月11日に起きた「東北地方大震災」を通し、原発のことや、食料問題、世界の飢えなどさまざまな問題を調べることで、安全な食、安心にくらせる社会、原発に頼らないくらしを痛感しました。

## 原子力発電所のしくみ

第3の火

核分れつによる原子力発電

水力 火力

原子炉 ウラン燃料 蒸気 タービン 発電機 水 海水